

## ねじりはちまき

8月 葉月 立秋 処暑の月になりました。  
8月7日立秋です。13日迎え盆。15日終戦記念日です。16日送り盆。23日処暑。  
31日は二百十日。

今年もまだまだ猛暑が続きますが、暦の上では秋になっています。  
8月を葉月と呼ぶのは葉が繁るというのではなく、葉が散り始める頃を迎える、  
ということからきているようです。  
また、稲の穂が張る月であることから「張り月」が転じて葉月になったという説  
もあります。  
その他に、紅染月(ベニソメツキ)とか、月見月、または秋風月とかいう異名もありま  
すが、いずれも中秋を思わせる趣がありますね。

そろそろ台風がやってくる。風害の元になるような所はないか、よく  
点検しておきたいですね。

実り多き秋に向かって、充実した毎日をお祈りしています。

幸田 常一

(°))<<

(°))<<

(°))<<

(°))<<



本宮市の現場で、事務所の建設工事をお世話になっておりましたが、  
お陰様でほぼ完成し、近々お引渡しさせていただきます。

郡山市の現場では、住宅の建設工事をお世話になっておりますが、  
こちらはまだまだもう少しかかりそうです。



### 「シタミ」

宮城県石巻市に、硯上山(標高520m余り)という山があります。この山は硯石の産出で知られ、以前は領主の伊達家へ献上していたといわれており、山の名前も「献上山」といわれていたそうです。私が所属する山岳愛好会では、平成23年4月にこの山に日帰り登山をする予定で準備を進めておりました。ところが、同年3月11日に、未曾有の東日本大震災が発生して(死者・行方不明者18,000人余、家屋の全・半壊400万戸余りの大災害となりました。)、登山道は通行禁止となり、登山計画も中止されました。

この様な大震災で登山は中止となりましたが、会員の是非登りたいとの熱意もあり、情報収集に努めた結果、道路も車での通行が可能となり、登山道も整備が進み、登山が可能である事が判明して、今年9月に当初の計画から5年目にして、私共の夢が叶う事になりました。この登山の担当者に選任されました私共夫妻と、宮城県出身のw氏夫妻が7月中旬シタミ(下見を事前に行い、安全確認をする。)をして参りましたので、下見の様子をお知らせ致します。

東北道・仙台南・仙台東・三陸道を通り、北上川沿いに北上して、新北上川に沿って北進。石巻市役雄勝町支所(東日本大震災に伴い発生した津波の跡も生々しく残り、支所も仮庁舎)で道案内をして頂く。折り返して、登山口まで曲がりくねった手入れの行き届いた舗装の道を進みました。登山口には大きな表示塔があり、駐車場も広々としていた。いよいよ登山開始。登山道は手入れが行き届いており、非舗装の自動車といった感じ(山頂に無線の中継所があり、その保守管理用の道路でもあるらしい。)。登山口から山頂までの累積標高差は220m(山道であり、多少のアップダウンが在る。)、往復の距離にして4km、所要時間120分。山頂からの眺めは抜群、眼下の東側に雄勝町の入江が青々と輝き、遠くに太平洋を眺めることができました。西側には一面のガスがかかり、何も見る事ができず誠に残念。帰りは往路を忠実に辿り、420kmの運転をして、無事帰宅することができました。帰宅してからの晩酌のビールの美味しいこと。元気に生活できる事の素晴らしさを実感致しました。

ただ私は、今年5月で85歳となり、後期高齢者の仲間入りをして10年になります。歳の事を考えなければとも思っております。今月号のある月刊雑誌に、20歳の体力が100%とすると、1歳加齢するごとに体力は1%ずつ減少していく。85歳になった私の体力は、20歳の時の35%でしかない。日常の生活でもこの事を実感しております。20歳の頃は、60kgの米の入った俵(かます)を楽々と担ぎあげていたのに、今は半分の30kg入りの米袋を持ち上げるのに、苦勞をしている始末。

足も上がらなくなっていて、躓く事が多くなってきました。登山中に他人に迷惑を掛けぬようにする事の大切さを強く感じているこの頃です。

k・s記



## 中南米の文明遺産

今回の話題は中南米の文明について触れてみたいと思う。文明といっても大それたことではなく、何とも不思議だなと思えることを紹介したい。「文明」というと、古代文明では我々が学校で習ったのは4大文明（メソポタミア・エジプト・インダス・黄河）で、そこには北米・南米は入っていない。人類の歴史からいって古代文明は世界各地に存在するのだろうが、遺跡が見つかっていないだけの話で、実際はあったのは間違いないと思う。アタランティス大陸文明（現代文明をしのぐ高度な文明をもっていた超古代文明）のような話もある。この話は別としても、多くの古代文明は時が経つとともに途絶え、姿を消してしまったのだ。では「中南米に文明」があったというのがどうだったのだろうか。今分かっているものにどんなものがあるのか。今回はそれを辿ってみたい。うまくいくといいのだが。中南米の文明というと、「インカ文明」、「マヤ文明」、「アステカ文明」が挙げられる。それぞれの文明の特徴があると思うが、遺跡として残っているものを紹介しながら、触れてみたいと思う。どこまで遡れるのか—どうも紀元前まではいかないようだ。そこで、先ず南アメリカの西側7か国にまたがるアンデス山脈の高地に栄えた文明を「アンデス文明」と称するが、その系統にある「インカ文明」から取り上げたい。インカ文明はプレ・インカ→クスコ王国→インカ帝国（首都はクスコ）と引き継がれるが、1, 200年頃成立したインカ帝国は、その最盛期には現在のペルー、チリ北部、アルゼンチン西北部、エクアドル、ボリビアに及ぶ地域を支配していた。その帝国もやがて大航海時代の1533年、スペイン人ピサロによって首都クスコが侵攻・征服され、帝国は滅びる。その際、インカ文明は徹底的に破壊されたのである。文字を持たなかったので記録もない。クスコ（現在ペルーの首都）はその後スペイン文化・キリスト教にとって代わられる（スペイン風の市街地が現在世界遺産に登録されている）。この点インカは特異と言えるかもしれない。さて、インカ文明は文字を持たなかったといったが、キープ（ロープの結び目を使う）という伝達手段を持っていた。インカ帝国時代は高度な農耕、金属器文化を有し、また勢力範囲は拡大する中で道路網を発達させた。次は遺跡の話であるが、「マチュピチュ」を取り上げよう。アンデス山脈に属するペルーの山の尾根（標高2, 430m）にある。この遺跡は15世紀のインカ帝国の遺跡である。現在世界遺産となっている。遺跡の存する村と大玉村との姉妹都市の締結がなされ、身近になった。マチュピチュは何のために造られたのか、文字記録がないのでよくわかっていない。規模としては120ほどの石造りの建物があり、最大750人ほどが住める街である。周囲に40段の段々畑もある。建物には神殿もあり、日時計の一種もある。どうも神殿はインカ人が崇拝していた太陽を観測するために造られたということが分かってきた。神殿の東側の左方の窓から日が差し込む時は「冬至」、右方から日が差し込む時は「夏至」だと判明している。神殿は「太陽の神殿」なのである。太陽は統治者にとって重要な「暦法」とも関連する。マチュピチュの位置は太陽観測に適し、標高高く太陽に近いということから選ばれたのだろうとの説である。余談だが、この遺跡はアメリカのハイラム・ビングラムが1, 911年に発見したとされるが、実はその9年前にペルー人のアグスティン・リサラガが既に発見していたという説もある。どちらなのだろうか。次はナスカの「地上絵」のことである。ナスカはペルーのナスカ川に囲まれた乾燥した盆地状の高原である。その地表面に描かれた幾何学図形や動物の絵である。これが「地上絵」で、現在世界遺産となっている。地上絵の描き方だが、盆地の暗赤褐色の岩を特定の場所だけ幅1~2m、深さ20~30cm程度取り除き、深層の酸化していない明るい色の岩石を露出させることによって描かれている。そうやって描かれた絵がまた大きいのである。長さでいうと、クモが46m、サルが55m、シャチが65m、ハチドリが96m、コンドルが135m、イグアナが180mといった具合である。今分かっている最大のものは鳥類（特定はできていない）で288mのものもあるということである。絵が



これだけ巨大であると、上空からでないとその全貌の把握が難しいということである。ではいつ頃描かれたのか。どうも5世紀後半から6世紀後半にかけてのことらしい。この遺跡の発見は、1939年に考古学者ポール・コソック博士（アメリカ人）によってなされ、その後ドイツの数学者マリア・ライヒュが終生住みつき、彼女を中心として絵の解明作業と修復が行われるようになった。実は、この地上絵の調査には日本人学者グループも貢献しているのである。山形大学の坂井正人教授のグループである。ナスカ市に研究所まで設けている。これまでに、人の頭部、動物、二人並んだ人物ほか多数の地上絵を発見し、発表している。テレビでも紹介されているので、ご存知の方もおられるだろう。ここまで地上絵について述べてきたが、肝心なこと「なぜこのような巨大な地上絵が描かれたのか」は依然として謎に包まれている。分かっていないのだ。それはそれでいいのだと思う。大事なものは、描いた人々の思いを忖度できるかどうかであろう。

次は「マヤ文明」に移ろう。マヤ文明は現在のメキシコ、グアテマラ、ホンジュラスに展開した文明である。紀元前後から16世紀、スペインによって侵入され、植民地となるまで続いた。特に3世紀頃から8世紀にかけて熱帯森林の低地地帯に宗教的都市（都市ごとに独立国家）が形成され、その中に巨大なピラミッド型の大神殿や祭礼上、裁判所、市場などが建設された。例えば、ティカル（グアテマラ）では3,000にのぼる大小の石造建築群の大都市が形成され、都市の中央に巨大なピラミッドが5基建造されていた。5基の内最大のもは高さが70mあったというのだ。この都市の形態はマヤの宇宙法則に則ったものであったという。世界遺産にも登録されている。宇宙法則ということだが、マヤ文明の特徴は天文台を設けて天体観測に優れていたことが挙げられる。火星や金星の軌道を計算していたことが知られている。また、これに関連して、極めて正確な暦も有していたのである（ハブとよばれる太陽暦）。また、数学を発達させて二十進法を用い、ゼロの概念も発明したといわれる。文字も4万種に及ぶマヤ文字を使用していた。面白いことに、マヤ文明には青銅器や鉄器などの金属器を持たず、高度な石器を多用していたこと、それと古い建築物の上に又新しい建築物を建てるという特殊な建築手法をもっていたということだ。余談だが、「マヤ」という言葉はメキシコ原住民の言葉で「周期」という意味だそうだ。そうすると、「マヤ文明」は「時間の文明」ということか。「天体観測一暦」と関係するのかもしれない。どうだろうか。

次に「アステカ文明」に移ろう。この文明は現在のメキシコ中央部のアスカ帝国（1428～1521年）の時が最盛期で、12世紀～1521年にかけての文明を指す。やはりスペインによって滅ぼされる。文明の特徴はマヤ文明を承継して共通するものがあり、合わせて「メソアメリカ文明」ともいう。天体観測に優れ、正確な暦を持っていたし、アスカ文字ももっていた。金属器は持たず、高度な石器を持つ。土木工事（神殿の建造、水利施設）で高い技術力をもっていた。また、特異なものとしては、アステカ帝国は神事として「人身御供」を行っていた。一種の「終末信仰」で、太陽の消滅を先延ばししてもらうために、「人間（生贄）の新鮮な心臓」を神に捧げることをしたのだ。その生贄確保のために戦争を仕掛けたというのだ。本当かなと信じ難い思いもするが、実際そうだったというのだ。空恐ろしい話ではある。この宗教儀礼はマヤ文明圏にもあったという。でも、生贄を要求する神など本当は存在しないと思うがいかがか。今回はこの辺で終わりとしたい。



## 処暑

8月23日は処暑です。

この頃には、ひぐらしが甲高い声で鳴き、夏の終わりを告げているかのようです。

朝夕には、秋の気配をかすかに感じられるようになりますね。

耳をすませば、虫の声が聞こえてくるかも知れません。

少しさみしい気持ちもしますね。

\* \* \* \* \*

## 今月の旬♡食材

### 「夏野菜」

キュウリ、トマト、ピーマン、ナス、オクラ…

この時期、夏野菜がおいしいですね。夏野菜はほてった体を冷ましてくれるといわれています。積極的に摂りたいですね。

どの野菜も、素晴らしい働きをしてくれます。

キュウリやスイカは利尿効果がありますし、トマトやピーマンにはビタミンがいっぱいです。オクラには、疲労回復効果があるといわれています。

ナスって栄養あるのかな？とも思いますが、体内の水分を調整してくれる働きがありますし、また皮の色素に免疫力を高める効果があるといわれています。

ナスは生で食べても、炒めても、油で揚げてもおいしいですよ。

和洋中と幅広く使える野菜です。

夏野菜を食べて、この夏の猛暑を乗り切ってください。



## <会社近況>

8月に入りました。毎日猛烈な暑さが続きますね。湿度も高いので体が疲れてしまいますね。お体ご自愛下さい。

事務所でも麦茶の他に、スポーツドリンクやコーヒーなど冷やしてあります。近くにお出での際は、水分補給にどうぞお立寄り下さい。(\*^\_^\*)

8月1日より、弊社にひとりメンバーが加わりました。

吉田芳一(よしだよしかつ)、32歳。

大玉村に住んでいます。

緊張しているようで口数も少ないのですが、暑い中黙々と作業をしてくれております。

皆様方にはご迷惑をおかけすることもあるかと思いますが、よろしく願いいたします。

現場では暑い中での作業なので大変な事も多いのですが、塩分や水分をこまめに摂ったり、それぞれ熱中症対策をしています。お盆を過ぎれば暑さも幾分やわらぐでしょう。それまでは暑さで事故やけがなどのないよう、体調を崩さないよう、十分に気を付けていきたいと思ひます。

…夏季休業のお知らせ…

8/11(木) ~ 8/16(火)まで、お休みさせていただきます。

17(水)は平常通りです。

すみませんが、よろしく願いいたします。

.....

\*

\*

\*

\*

\*

\*

平成28年 8月5日発行  
有限会社 幸田建設  
<発行責任者>幸田久美  
〒969-1204  
本宮市糠沢字八幡1-1  
電話、0243-44-3816

<後記>

今回も、企画住宅の広告を送らせていただきました。

夏バージョンです。

よろしく願いいたします。

(事務員k)